

令和元年(2019年)10月18日

「被災地へのビジョンバン(眼科医療支援車両)派遣について」

公益社団法人 日本眼科医会

この度の台風19号による豪雨災害により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地からの要請により、10月22日(火・祝)に、ビジョンバン(眼科医療支援車両)を、河川の氾濫被害にあった宮城県大崎市鹿島台の「旧鹿島台第二小学校」に災害派遣いたします。

当日は本会常任理事の加藤圭一医師が同行いたします。

詳細は下記のとおりです。

何卒ご高覧頂き、本活動へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日時: 令和元年10月22日(祝日) 10:00-13:00頃予定

場所: 宮城県大崎市鹿島台「旧鹿島台第二小学校」

(宮城県大崎市鹿島台大迫寺沢40-14)

上記避難所にて、眼科医による無料眼健診を実施

* 日本眼科医会 HP 新着情報

<https://www.gankaikai.or.jp/#new>

* ビジョンバン HP

<http://www.visionvan.jp/>



●ビジョンバン(眼科医療支援車両)とは？

1) 平時には健診を主体とした活動を、有事に際しては救援活動を行う。

- ・眼科総合健診・目の健康相談
- ・眼疾患啓発活動
- ・眼疾患疫学的調査
- ・日本全国で激甚災害が起きた時の救援活動

2) ビジョンバンの来歴

東日本大震災後、震災復興予算として宮城県を經由して宮城県眼科医会にビジョンバンが予算執行(1億円)され、被災3県を中心とした事業や広域災害への対応を行ってきた。H28年からは、その所管が(公社)日本眼科医会に移管された。

国内での被災地支援活動・健診活動のほか、フィリピン共和国 Yolanda 台風被災支援、眼科医不在のパラオ共和国での活動も行っている



3) 近年の活動実績

・H28年度 国内:全国9か所、受診者延べ357名、医師数延べ40名。海外:パラオ・台風被害への救助活動 受診者延べ583人

・H29年度 国内:全国13か所、受診者延べ659名、医師数延べ92名

・H30年度 7月豪雨による岡山県倉敷市真備町への災害派遣 受診者延べ92名、うち結膜炎(アレルギー性、疑いを含む)診断者63名

本件に関するお問い合わせ:

■本件に関する全般的なお問い合わせ

(公社)日本眼科医会 事務局広報

〒105-0014 東京都港区芝 2-2-14 一星芝ビルディング 7階

TEL: 03-5765-7755 (平日 10:00~18:00、土日祝は休み)

FAX: 03-5765-7676

<https://www.gankaikai.or.jp/>



日本眼科医会 HP (新着情報)



ビジョンバン HP



目に異常を感じた場合には、お近くの眼科専門医にご相談下さい。